○神戸市留学生支援等基金条例

平成元年 3 月 31 日

条例第 38 号

(設置)

第 1 条 次に掲げる目的を達成するため、神戸市留学生支援等基金（以下「基金」という。）を設置する。

- (1) 神戸市内の大学等において勉学し、又は研究する外国人留学生を支援し、もって諸外国との友好を促進すること。
- (2) 経済事情の変動等により著しく財源が不足する場合において当該財源に充てること。

(基金の額)

第 2 条 基金の額は、20 億円とする。

- 2 前項の基金の額のうち 10 億円は、篤志者菅原一郎氏からの寄附金をもつて充てる。
- 3 この条例の趣旨に賛同する篤志者から基金に寄附があつたとき、又は第 5 条の規定により基金の運用から生じた収益金を外国人留学生の奨学金その他の支援資金として支出し剰余を生じたときは、一般会計歳入歳出予算に定めるところにより、その額を基金に追加して積立てをすることができる。
- 4 前項の規定により積立てが行われたときは、基金の額は、積立額相当額増加するものとする。

(管理)

第 3 条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他最も確実かつ有利な方法により保管しなければならない。

- 2 基金に属する現金は、必要に応じ、最も確実かつ有利な有価証券に代えることができる。

(繰替運用)

第 4 条 市長は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間及び利率を定めて、基金に属する現金を事業費その他の経費に繰り替えて運用することができる。

(運用益金の処理)

第5条 基金の運用から生じる収益金は、一般会計歳入歳出予算に計上して、外国人留学生の奨学金その他の支援資金に充てるものとする。

(奨学金制度の創設)

第6条 市長は、前条の規定により奨学金制度として菅原奨学金を創設するものとする。

(処分)

第7条 市長は、基金設置の目的を達成するため、必要があると認めるときは、一般会計歳入歳出予算に定めるところにより、基金に属する現金の一部を処分することができる。

(施行細目の委任)

第8条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(基金の額の特例)

2 基金の額については、昭和63年度に限り、第2条第1項中「20億円」とあるのは「10億円」とする。

附 則 (平成8年3月29日条例第74号)

この条例は、平成8年4月1日から施行する。